

教科名	国語	単位数	4単位	学科・学年	普通科1年
教科書名	新編国語総合			出版社名	東京書籍
副教材等	常用漢字オールクリア			出版社名	尚文出版
科目目標	伝え合う力を高め、思考力を伸ばす。また、言語感覚を磨き心を豊かにする。 読み取る力、読書に親しむ態度を育てる。				
到達目標 (検定目標)	国語を尊重し、言語活動に興味を持てるようにする。 自分の考えをまとめて話すことができる。 文章の内容を的確に読み取ることができる。 継続的な漢字学習を通して、正しく読み、書く能力を身に付け、語彙を豊かにする。				
成績評価	定期考査、小テスト、課題、提出物、授業態度などをもとに、評価の観点により総合的に評価します。				
評価規準	関：関心・意欲・態度 思：思考・判断 技：技能・表現 知：知識・理解				

授 業 計 画

月	授 業 内 容	授 業 目 標	評価の観点			
			関	思	技	知
4	随想・未来を開く 「ルリボシカミキリの青」 「古文に親しむ」漢字学習	・語句の意味を的確に理解し、筆者の日常の体験から生まれたものの見方や考え方を理解する。 古文の基礎を学びなおす。	●	●	●	●
5	小説・ふれあう心「とんかつ」 「児のそら寝」・漢字学習	・全体をとらえて概要を把握し、物語の展開を理解する。登場人物の心情の変化を理解し、読解力を養う。 ・親しみのある古文教材で、古文を学ぶ興味を持たせる。	●	●	●	●
6	評論・現代を生きる 「未来をつくる想像力」 小説・心の風景「羅生門」 徒然草「亀山殿の御池に」・漢字学習	・評論を読むことで、系統立った思考力を養う。 小説の古典的作品に触れることで、長文読解力と小説への興味を持たせる。 ・易しい古典教材から人の生き方を学ぶ。	●	●	●	●
7	随想・未来を開く「隣の校庭」 漢字学習	・日常的な生活の中から、注意深く世の中を見る目を養う。	●	●	●	●

9	小説「果物屋のたつ子さん」 随筆「奥山に、猫またといふものありて」漢字学習	・日常生活に即した小説により、心のふれあいを学ぶ。 ・誰もが心当たりのある教材で楽しく学ぶ。	●	●	●	●	
10	小説・心の風景「ほおずきの花」 随筆・枕草子「うつくしきもの」 漢字学習	・心象風景を細かく表現した小説をじっくり読み解くことで、豊かな感受性を養う。 ・珠玉の古典随筆を読むことで、いにしえ人の心に触れる。	●	●	●	●	
11	随想・つながりを生きる 「待つということ」 詩・言葉がひらく世界 「空をかついで」 「二十億光年の孤独」 物語・古人の生き方「芥川」 漢字練習	・随想により、人と人との心をつなぐ力を養う。 ・優れた詩を読み取ることで、言葉の美しさを味わう。 ・古文の定番である「芥川」を読み、男と女の愛情の機微を学ぶ。	●	●	●	●	
12	随想・つながりを生きる「里山物語」 短歌・俳句珠玉のうた「その子二十」 漢文入門・漢文に親しむ 「守株」「借虎威」 漢字学習	・随想を読み、世の中の仕組みや、人の心をつなぐを学ぶ。短歌・俳句の基礎を学ぶ。 ・漢文の基礎を学ぶ。	●	●	●	●	
1	小説・生を支えるもの「沖縄の手記から」 漢文入門・漢文に親しむ 五十歩百歩 ・漢字学習	・戦争文学を読み戦争の悲惨さと命の大切さを学ぶ。 ・漢文の基礎を学ぶ。	●	●	●	●	
2	随想・生きるということ 「りんごのほっぺ」 唐詩「春暁」 漢字学習	・随想を読み、原爆の悲惨さと、親子の情愛の深さを学ぶ。 ・漢詩の基礎を学ぶ。	●	●	●	●	
3	評論・広がる世界 「自己基準と他者基準」	・論理的文章を読み解き、次の学年への心構えを学ぶ。	●	●	●	●	

【履修上の注意およびワンポイントアドバイス】

- ・国語は本読みが基本です。毎日音読するようにしましょう。継続して活字になれましょう。
- ・辞書類はいつでも調べられるように常に手元におきましょう。
- ・定期的に行われる漢字テストなどには積極的に取り組みましょう。